

プロフィール

《 折原麻美 》

国立音楽大学音楽学部音楽文化デザイン学科（音楽学）卒、同時に有馬賞を受賞。在学時にヴィオラ・ダ・ガンバを始め、2010年に渡欧、ブリュッセル王立音楽院古楽器科へ入学。2016年に優秀賞付きで修士課程、2017年に研究科を修了。これまでにヴィオラ・ダ・ガンバを神戸榎樹美、フィリップ・ピエルロ各氏に師事。学外では上村かおり、坂本利文、ジョルディ・サヴァル、マリアンヌ・ミュラー、パオロ・バンドルフォ、フリーデリケ・ホイマン各氏に学ぶ。日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会、埼玉県より奨学金受給。2015年、リエージュ交響合唱団によるJ.S.バッハ「ヨハネ受難曲」のソリストを務める。また、バグズ、アヤメ・アンサンブル・バロック、ルクス・ベアータ等のアンサンブルに所属し、ベルギーのラジオ局RTBF主催ムジーク・トロワ祭、ミディ・ミニム音楽祭（ブリュッセル）、ユトレヒト国際古楽音楽祭等ヨーロッパの主要な音楽祭に出演。2017年秋に帰国、日本を基盤に活動を開始。

《 名越小百合 》

桐朋学園大学、桐朋学園大学院大学修了。修士論文「ピアノの変遷史について」を書いたことを切っ掛けに、作曲家自身が当時使っていた「歴史楽器」に興味を持ち、桐朋学園研究科チェンバロ科に入学。その後ベルギー政府の奨学生として、ブリュッセル王立音楽院フォルテピアノ科修士課程を特別栄誉賞付きディプロムを得て修了。ローマ・フォルテピアノ国際コンクール（M. クレメンティ賞）優勝をはじめ、数々の国際コンクールにて受賞。その後、2016年にイタリアのトリエステで行われた The WunderKammer Festival に招待されたのを皮切りに、The Festival resonances（ベルギー）への参加、アントワープの歴史的なホールAmuzでの演奏会、またローマのAccademia Filarmonica RomanaやフィレンツェのAccademia Bartolomeo Cristoforiにてリサイタルを行うなど、現在ブリュッセルに拠点を置きながらヨーロッパを中心に積極的な演奏活動を行っている。2018年、アントン・エーベルルの作品を集めたデビューアルバムをBRILLIANT CLASSICSより発売予定。これまでにピアノを佐藤鈴子、権藤譲子、野島稔の各氏に、チェンバロを有田千代子、Ewald Demeyere、Herman Stinders、Kris Verhelstの各氏に、フォルテピアノをPiet Kuijken、Boyan Vodenitcharov、Bart Van Oortの各氏に、室内楽を藤井一興、岩崎淑、寺神戸亮、有田正広の各氏に師事。

会場へのアクセス

西方音楽館（栃木県栃木市西方町金崎342-1）

Tel：0282-92-2815 / E-mail：info@wmusic.jp

- 東武日光線・東武金崎駅改札口をすぐ左折後、300メートル直線、右側
- 北関東自動車道 都賀インターから車で5分
- 例幣使街道沿い、道路西側

松本記念音楽迎賓館（東京都世田谷区岡本2-32-15）

Tel：03-3709-5951

- 東急田園都市線「二子玉川駅」東口よりバスを利用の場合
東急コーチ玉31成育医療センター行、または玉32美術館行
停留所「もみじが丘」または「岡本三丁目」下車、徒歩5分（乗車時間約15分）
- 小田急線「成城学園前駅」南口よりバスを利用の場合
東急バス都立01都立大学駅北口行き
停留所「岡本三丁目」下車、徒歩5分（乗車時間約15分）
- お車でお越しの方は、先着6名様まで駐車場がございますので、お早めにご連絡ください。

